



安倍暴走阻止へ力をあわせましょう！！

海外での戦争のための訓練 戦争法(安保法制)成立後初

あいば野の日米合同訓練はやめよ



「ふるさと連」とともに県へ申し入れをするふしき・藤井両県議

8月29日から饗庭野演習場（高島市）で計画されている陸上自衛隊と米陸軍の日米共同訓練（合同演習）について、8月19日、「ふるさとをアメリカ軍に使わせない滋賀県連絡会」が、安保法制（戦争法）の実施中止と、これにつながる合同演習に反対するよう、三日月大造知事宛てに申し入れをおこない、西村信雄地震・危機管理室長が対応しました。日本共産党節木三千代・藤井三恵子両県議が参加しました。

稲田朋美防衛相が、8月24日戦争法（安保法制）で拡大された自衛隊の新たな任務について全面的に訓練を開始することを発表しました。南スーダンPKO（国連平和維持活動）に11月から派遣予定の陸上自衛隊部隊に新任務として付与を検討している「駆けつけ警護」や「宿营地共同防護」の訓練に続き、集団的自衛権の行使や「戦闘地域」での米軍への兵站（へいたん）などを想定した日米共同演習も狙っています。自衛隊員が「殺し殺される」危険が増大します。それにさきだっておこなわれる合同演習は、絶対に認められません。

9月定例会議の日程

- 9月16日 開会
- 23日 代表質問
- 28日～10月3日 質疑・一般質問
- 10月5～11日 各常任委員会
各特別委員会
- 10月13日 閉会

※9月27日正午が請願の締め切りです。ご意見・ご要望をぜひお寄せください。

2018年度からの国保の都道府県化で 国保料の値上げや、徴収強化も

2018年度から始まる国民健康保険の都道府県化で、都道府県が国保財政を管理し、市町国保を監督することになります。市町の独自の繰り入れがなくなれば、今でも高い国保料がさらに引き上げることになります。保険証の取り上げや、差し押さえなど徴収が、一層強化させる危険な仕組みです。

今年度大津市でも、4人家族所得300万円の世帯で、国保料が18780円も値上げされ、年間14.4%もの負担となっています。命を守る国保の役割を果たすため、減らした国庫負担を増やすこと、県として高い保険料を引き下げのために、一般会計からの繰り入れることを求めるものです。

みちよの
かけ歩き(記)

子どもたちの生きる支え 守山養護学校を守って!!

守山養護学校は、隣接する小児保健医療センターに入院している子どもたちが通っている学校です。今年3月に「滋賀県立小児医療センター基本構想」で、隣の「成人病センターをあわせてひとつの病院組織とする方向で検討する」という方針が示されました。守山養護学校そのものについては「県教育委員会と協議・調整の上整理」とされているだけです。仮に小児医療センターの建て替えが行われるならば、現在のように病院から独立した校舎として存続してほしいというのが保護者、関係者の願いです。

「もし新しい病院の中に設置されれば、生き物を飼うことも、土遊びもできなくなる、大きな声も出せなくなる」、「病院と別の校舎だからこそ、気持ちを切り替えて登校し、つらい闘病生活も送ることができる」などの声が寄せられています。今年度中に「基本計画」を策定しようとしています。子どもたちの生きる支えとなっている守山養護学校は、今後も独立した校舎で存続することを強く求めます。

(ふしき)

生活相談会をおこなっています。

9月5、26日(月)午後2時～5時
ふしきみちよ事務所 秘密厳守・無料

2016年8月30日 発行：ふしきみちよ事務所
大津市末広町4の4 Tel・Fax 077-523-0334
メール mfushiki@beach.ocn.ne.jp

ふしき みちよ

検索